

<第4712回>

目的地：長老ヶ岳(丹波)

担当者：白神

実施日：2026年5月9日(土)

形式：マイカー山行(車3台 4名乗車+4名乗車+3名乗車)

費用：¥2,000

参加者：11名

天気：快晴

行程：

京阪樟葉駅(8:00)⇒阪急大山崎駅(8:30)⇒道の駅丹波マーケス(9:15)⇒(10:05)長老ヶ岳登山口(10:20)→(11:05)長老が岳森林公園(11:10)→(11:35)東屋(11:40)→(12:45)上乙見分岐→(12:55)長老ヶ岳山頂(13:40)→(14:05)林道合流→(15:40)七色の木(15:50)→(16:00)長老ヶ岳登山口(16:10)⇒(16:30)道の駅和[買い物・解散](17:10)→(18:20)京阪樟葉駅

感想：

去年の長老が岳で見たイワカガミの群落忘れられず、半年後に再度同じコースを辿りました。去年の紅葉の山とは打って変わって、目にも鮮やかな新緑の中、歩きやすい登山道を進みます。山頂までの道のわきにもイワカガミはあるのですが、どうもお花のピークは過ぎているようです。まだここは標高が低いし、山頂あたりは一面のおお花だろうと期待していました。途中すれ違った団体さんも、「イワカガミ咲いてたよー」すれ違いざま教えてくれました。

山頂で360度の眺望を楽しんだ後、いよいよお花畑へ突入です。・・・あれ？あまり咲いてない？というかほとんど咲いてない？群落の中で所々に一輪、もしくは4～5輪の花が咲いている程度でした。あー残念。でも裏切ることもない新緑に癒されながら七色の木まで下りてきました。

七色の木は新緑に囲まれ、昨年より神秘性を増しているように感じられました。

去年は紅葉の落ち葉と登山靴、今年は瑞々しい緑と登山靴の写真を撮って、昨年と同じ道の駅へ。事前リサーチではイチゴフェア開催中のはずでしたが、フェアの時間帯は4時30分までで、われわれは間一髪間に合いませんでした。気を取り直して、ヨモギや栗のソフトクリームを由良川の流れを見ながらゆったりしたのでした。

駐車場でそれぞれの車に乗り込み、形式上ここで解散としました。安全運転で。

特記：

登山口から車道を上った先の森林公園にもトイレはありますが、今回はポンプの故障で使用出来ませんでした。トイレは仏主バス停の向かい側にきれいなトイレがありますので、そこで済ませておくのがいいでしょう。